

平成26年度東濃支部研修会報告

こんにちは皆様いかがお過ごしでしょうか。

東海地方も梅雨明けとなりました。これから暑い日が続きます。今年の東濃地域は暑さ日本一になるでしょうか。

7月13日(日)、セラトピア土岐にて研修会を開催致しましたので報告致します

“船戸クリニック訪問看護ステーション天の星”の北村弘幸先生を招き

“地域包括ケアシステムにおける訪問リハビリテーションの役割と実践”

について講義をしていただきました。参加者31名、支部外からの参加もあり今後の介護保険領域の動向への関心の高さを窺えました。



今後の高齢社会を見据え、医療費、介護保険費用が年々増加していく中で、政府がいかにしてその費用の増加を抑制するにはどうすべきかと考えているのか、またその中での理学療法士に求められていることは何か？を解りやすく講義していただきました。

今後リハビリテーションの役割は重要性を増していくと思われるが、理学療法技術の向上、研鑽はもちろんのこと、職場内の仕事のみで専念するのではなく、まだまだ理学療法士の職種というのが理解されているとは言い難い面があるので、他職場、他職種との連携、行政への働きかけ、各種会議に参加できるような働きかけも必要かと痛感しました。



「きちんと治療できるセラピストでなければ地域に出る資格がない。対象者の生活機能全般が見渡せないと、地域ではやっていけない」

と研修の中にありましたが、その言葉を重く受け止め日々精進したいと思いません(汗)

今回参加していただいた会員の皆様、講師の北村先生、そしてスタッフの皆様ありがとうございました。

東濃支部研修担当 大島啓貴